

# 下肢装具手帳



お名前

様

- 作製していただいた装具を**快適に安全**にご使用頂くために必要な情報が記載してあります。
- 装具について困ったことがあった場合の**相談連絡先**が記載してあります。
- 当院退院後に利用するサービス担当者にも装具手帳を確認してもらって下さい。
- **1回/月は装具のチェックポイント**にそって**確認**をしてください。

## ■ 鵜飼リハスタッフ用

基本情報 .....	2
退院時チェック（鵜飼リハスタッフ記入欄） .....	3

## ■ ご本人・ご家族用

### 参考資料

装具について（各部の名称と仕様） .....	4-5
注意事項と日常のお手入れ .....	6
装具のチェックポイント .....	7-8
装具の効果について .....	9
退院後の装具作製の手順 .....	10-11
相談先 .....	12
装具に関するQ & A .....	13

## ■ 医療関係者用

装具の調整方法 .....	14
装具のチェックポイント .....	15-16
申し送り記入欄 .....	17-18

# 基本情報

作製業者			
連絡先			
作製した病院	鵜飼リハビリテーション病院		
連絡先	052-461-3132		
担当理学療法士			
装具作製日	年 月 日		
装具の種類	※ RAPS の場合 支柱の種類 ※ GS の場合 ダンパーの設定		
耐用年数 <sup>※</sup>	年		
利用した医療福祉制度	身障手帳の有無		有 ・ 無
退院時の設定	背屈 度	底屈 度	固定 ・ 遊動
退院後に予想されるリスク			
装具に関する相談窓口	鵜飼リハビリテーション病院 052-461-3132 (平日9:00~18:00)		

※耐用年数：金属支柱・RAPS3年 プラスチック装具1.5年 軟性装具2年

## MEMO

---



---



---

# 退院時チェック (当院スタッフ用)

退院時装具指導実施日 年 月 日

退院時確認事項		チェック欄
1	装具手帳を用いて必要事項の説明をしたか？	
2	装具手帳の基本情報を記載したか？	
3	装具のベルク口は適切な長さか？	
4	装具と皮膚の接触はないか？	
5	装具のネジは緩みがないか？	
6	装具から異音がしないか？	
7	ベルク口の接着力は大丈夫か？	
8	装具の変色はないか？	

(氏名)

退院時装具指導実施者

---

## MEMO

---



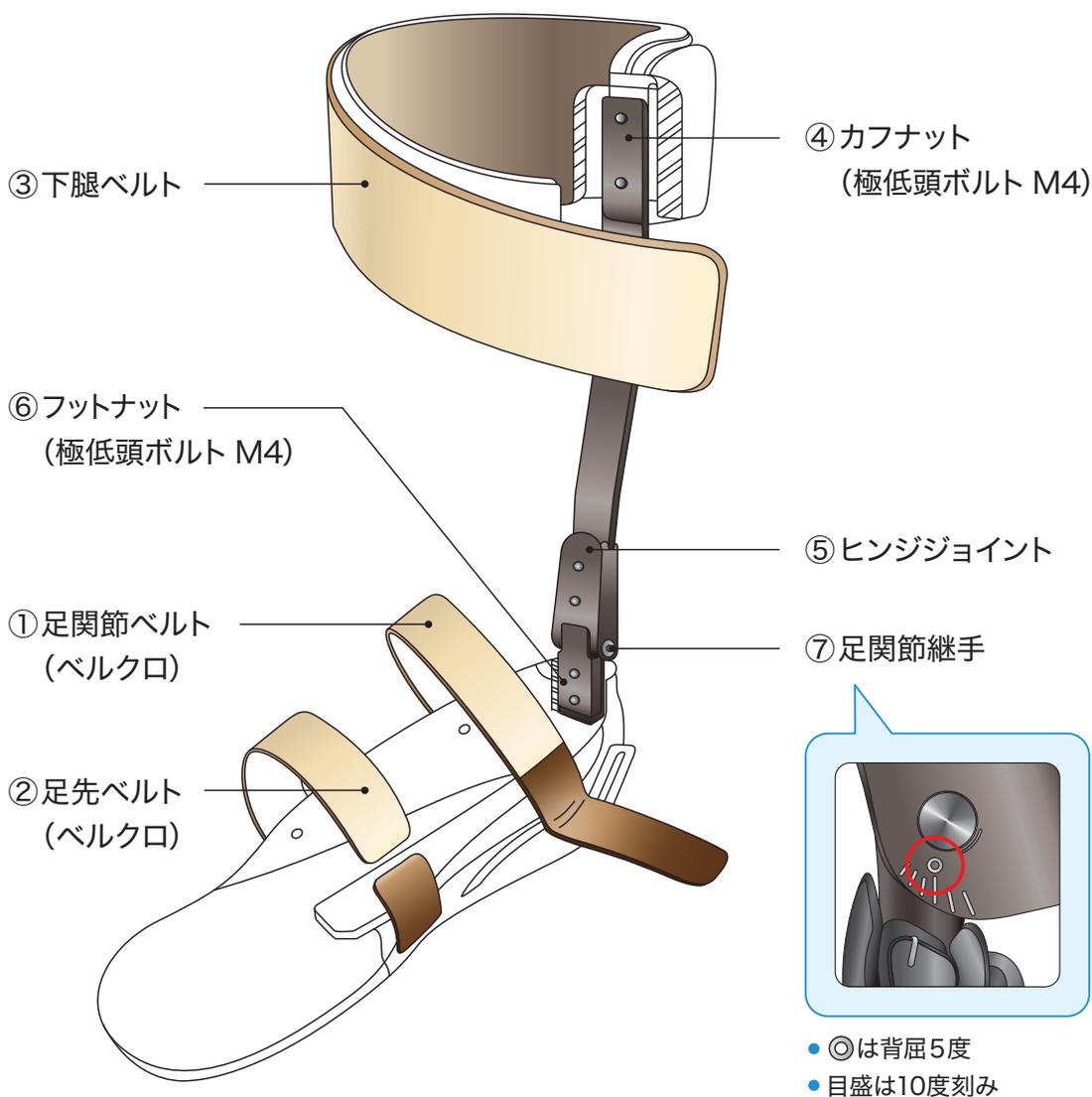
---



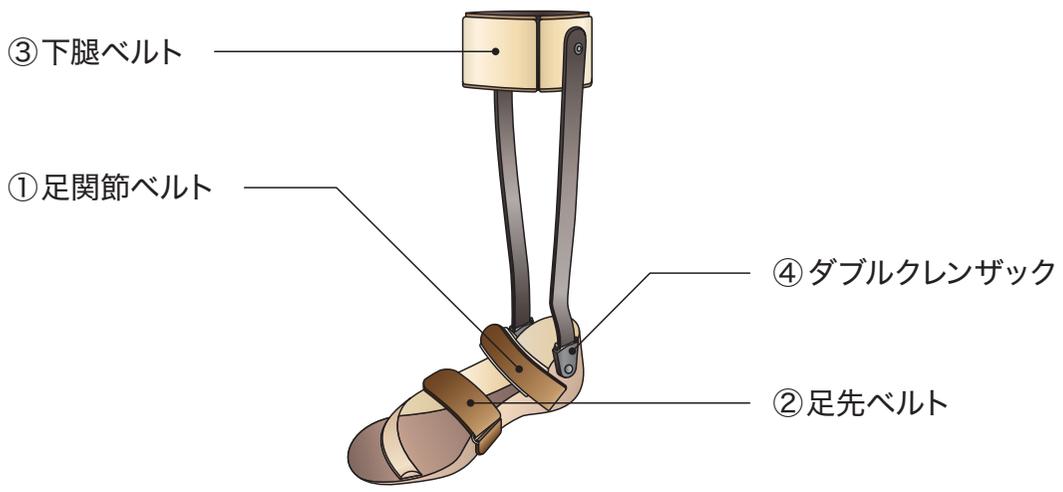
---

# 装具について (各部の名称と仕様)

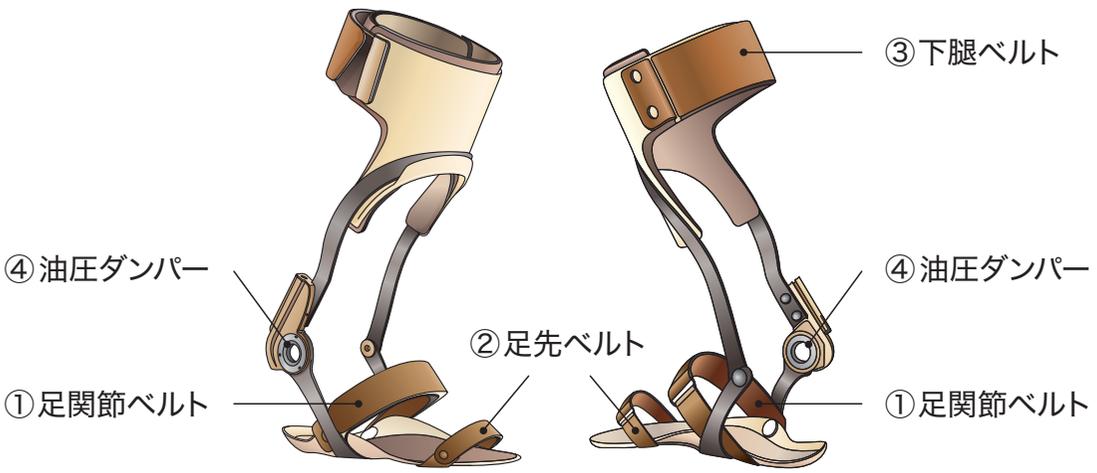
## 調整機能付き後方平板支柱付き短下肢装具 (RAPS-AFO)



## 金属支柱付き短下肢装具



## ゲイトソリューション (GS)



## 装具の装着方法

1. 踵をしっかりと装具内におさめる。
2. ①足関節ベルトをしっかりととめる。
3. ②足先ベルト、③下腿ベルトをしめる。(どちらからでも構いません。)

正しい装着方法で装着しないと皮膚のトラブルにつながる可能性があるため注意が必要です。

# 注意事項と日常のお手入れ

長くお使いいただくために、注意事項を確認し日常的に下記の要領でお手入れを行って下さい。

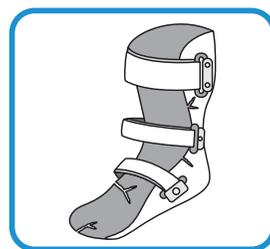
## ▶ こんな状態になっていませんか？



ぶかぶか



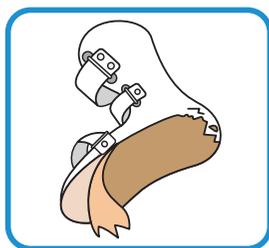
ぱんぱん



ひび割れ



ゴミ付き



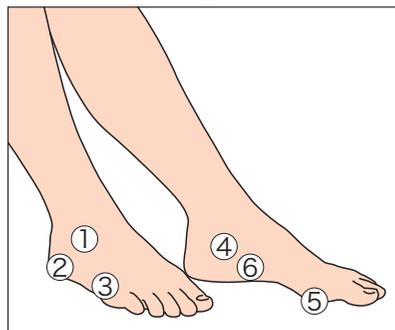
はがれ



異音

- 足の太さが変わって装具がきつく（ゆるく）なったり、ひび割れなど装具に異常がある場合は使用を避け、医師またはリハビリスタッフなどに相談してください。
- 防水仕様ではないため、濡れた場合は、乾いた布でふき取って下さい。
- ベルトの接着部分に付いた糸くずは取り除いて下さい。
- お肌に触れるクッション部分の汚れや、金属やプラスチックの部分の汚れは、布で拭き取ってください。
- 足の皮膚の赤みの好発部位（右図）です。装具使用後に皮膚が赤くなっている場合はサイズがあっていない可能性がありますので医師またはリハビリスタッフなどに相談してください。

皮膚の赤みの始発部位



- ① 外くるぶし
- ② かかと
- ③ 小指のつけね
- ④ 内くるぶし
- ⑤ 親指のつけね
- ⑥ ④と⑤の間

# 装具のチェックポイント (本人・ご家族用)

項目内の( )は各部名称記載ページに示した部位となります。参照して下さい。

チェックポイント	日付 (月1回チェック)					
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
各部に <b>変形</b> はありませんか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
各部に <b>変色</b> はありませんか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
各部に <b>破損</b> はありませんか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ネジのゆるみ</b> はありませんか? APS(④⑤⑥) 金属(④)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルト</b> に異常はありませんか? APS(①②③) 金属(①②③) GS(①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルク口の接着力</b> に問題ありませんか? APS(①②③) 金属(①②③) GS(①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルク口のほつれ</b> はありませんか? APS(①②③) 金属(①②③) GS(①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
使用時に <b>異音</b> は鳴っていませんか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
使用後に <b>皮膚のトラブル</b> はありませんか? (皮膚の赤み・傷など)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有

※有に○が付く場合は、通院先などの医師またはリハビリスタッフに相談して下さい。

## MEMO

# 装具のチェックポイント (本人・ご家族用)

項目内の( )は各部名称記載ページに示した部位となります。参照して下さい。

チェックポイント	日付 (月1回チェック)					
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
各部に <b>変形</b> はありませんか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
各部に <b>変色</b> はありませんか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
各部に <b>破損</b> はありませんか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ネジのゆるみ</b> はありませんか? APS(④⑤⑥) 金属(④)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルトに異常</b> はありませんか? APS(①②③) 金属(①②③) GS(①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルク口の接着力</b> に問題ありませんか? APS(①②③) 金属(①②③) GS(①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルク口のほつれ</b> はありませんか? APS(①②③) 金属(①②③) GS(①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
使用時に <b>異音</b> は鳴っていませんか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
使用後に <b>皮膚のトラブル</b> はありませんか? (皮膚の赤み・傷など)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有

※有に○が付く場合は、通院先などの医師またはリハビリスタッフに相談して下さい。

## MEMO

# 装具の効果について

## I 下肢装具を使用するメリット

脳卒中など麻痺のある人は、歩行の際、装具を使うことでどのような効果があるのでしょうか。

まず第一に、全く不自由がなくなるわけではありませんが、使用することで安定して長く歩行することができ、楽になることが多いです。

第二に、内反尖足（せんそく：つま先が下向きになってしまう）・反張膝（はんちょうしつ：膝が後方に押される）・拘縮（こうしゆく：かたまること）といった望ましくない変化を予防する効果があります。

## I 下肢装具を使用しないデメリット

せっかく作製・調節した装具ですが、その装着のわずらわしさから、装具なしで歩く方法を選ばれる人も実際にはいます。

長く歩行する機会がないと、なかなか装具の良さがわかりにくい面があります。動作が不安定になり、転倒リスクが増す場合もあります。

ただし、適切な装具を使用しないまま長期間経過すると、歩行の際に麻痺の影響を代償しようとする体の動きが身に付いてしまいます。その結果、先ほど述べた反張膝など、望ましくない変化を生じることがあります。



# 退院後の装具作製の手順

## 名古屋市在住の方

入院時に作製した装具は治療用装具といえます。そのまま使って頂いても問題はありませんが、退院後、半年程度をめぐりに更生用装具（生活の中で使用）への作り替えをおすすめします。

▶ 障害者総合支援法・補装具費支給制度（身体障害者手帳）にて作製をお考えの方

## 対象者

### 身体障害者手帳をお持ちの方

原則として、補装具に対応する障害名が身体障害者手帳に記載されていることが条件となります。

※但し、本人又は同世帯のご家族のいずれかが一定の所得（市町村民税46万以上）の場合には支給対象外となります。

## 支給までの流れ

### 申請手続き

区役所の福祉課窓口へ費用支給の申請手続きを行います。名古屋市総合リハビリテーションセンターの判定日の予約をします。

### 名古屋市総合リハビリテーションセンターの判定

原則として更生相談所来所による直接判定が必要です。支給判定は、聴き取り、検査、診断等から医学的判定を行い装具を処方します。

### 支給券の発行

判定書に基づき支給券が発行されます。製作会社へ支給券が発行されたことをお伝え下さい。

### 補装具の製作

業者より仮合わせ・納品の打ち合わせの連絡が入ります。

### 補装具の納品

名古屋市総合リハビリテーションセンターで納品の適合判定を行います。

# 退院後の装具作製の手順

## 名古屋市以外にお住まいの方

### 対象者

#### 身体障害者手帳をお持ちの方

原則として、補装具に対応する障害名が身体障害者手帳に記載されていることが条件となります。

※但し、本人又は同世帯のご家族のいずれかが一定の所得（市町村民税46万以上）の場合には支給対象外となります。

### 支給までの流れ

#### ①役所の福祉課で装具作製の申請をする。

※身体障害者手帳を使いたい旨を伝える。⇒白紙の意見書が渡されます。

#### ②鵜飼リハ病院で装具診察を実施します。（ご本人に来院してもらう必要があります。）

※装具診察は予約制になりますので当院へ電話にて連絡して日程調整を行う必要があります。  
診察にて作製する装具を決定し、意見書に医師が記載します。  
東名ブレースが見積書を作成します。

#### ③意見書と見積書を役所の福祉課に提出します。

#### ④役所の福祉課より装具作製の可否の連絡があり、作製可の場合は支給券が発行されます。

#### ⑤装具の受取日を決めます。

※鵜飼リハ病院へ装具診察の予約のため連絡をしてください。  
※支給券が発行されたことをお伝えください。

#### ⑥装具の受け取り（ご本人に来院してもらう必要があります。）



### 東名ブレース株式会社

〒489-0979 愛知県瀬戸市坊金町271  
TEL : 0561-85-7355

# 相談先情報

## 名古屋市身体障害者更生相談所 (名古屋市総合リハビリテーションセンター)

〒467-8622 名古屋市瑞穂区弥富町字檳柑山1番地の2  
名古屋市総合リハビリテーションセンター1階

### ■ 公共交通機関

地下鉄名城線：「総合リハビリセンター」下車 1番出口  
市バス：「総合リハビリセンター」下車

## 鵜飼リハビリテーション病院

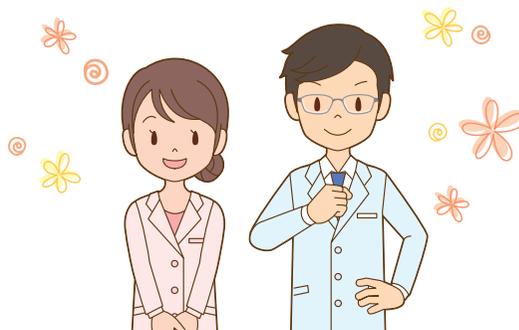
〒453-0811 名古屋市中村区太閤通4番地の1  
TEL：052-461-3132

### ■ 公共交通機関

地下鉄桜通線：「中村区役所」下車 1番出口  
市バス名鉄バス：「中村区役所」下車

## 東名ブレース株式会社

〒489-0979 愛知県瀬戸市坊金町271  
TEL：0561-85-7355



# 装具に関する Q&A

**Q** 装具を作り変える時期はどれくらいですか？

**A** 装具は、厚生労働省により耐用年数が定められています。耐用年数とは、通常の使用において修理不能となるまでの想定年数であり、耐用年数が過ぎると新しいものを申請することができます。耐用年数は、装具の種類によってことなります。鵜飼リハで作製した装具の耐用年数は P2 に記載してあります。

---

**Q** 耐用年数内に作り変えたい場合はどうすればいいですか？

**A** 障害状況の変化などで身体に適合しなくなった場合や著しく破損し修理困難な場合は、耐用年数内でも再支給が可能です。

---

**Q** 最近歩きにくくなりました、どうしたらいいですか？

**A** ねじの緩みなどで装具の設定が変わっている可能性や障害状況の変化などで身体に合わなくなっている可能性があります。

---

**Q** 通勤や入浴の時に別の装具が欲しいです。どうすればいいですか？

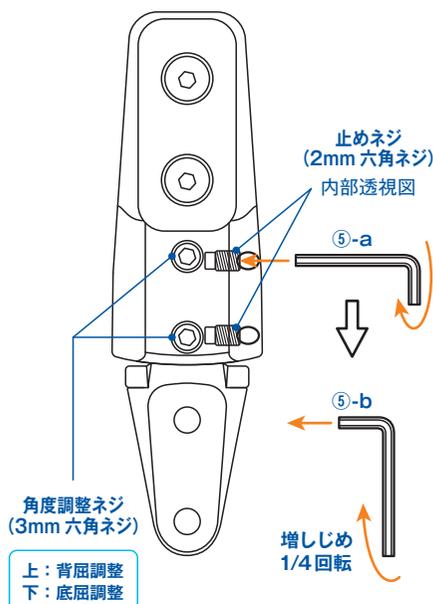
**A** 装具の支給は原則として1種目につき1個ですが、身体障害者更生所が必要と認めた場合、2個目の支給を検討することが出来ます。



困ったことがあった場合は、通院先などの医師又は  
リハビリスタッフに相談して下さい。

# 装具の調整方法 (リハスタッフ向け)

## RAPS-AFO



### 調整手順

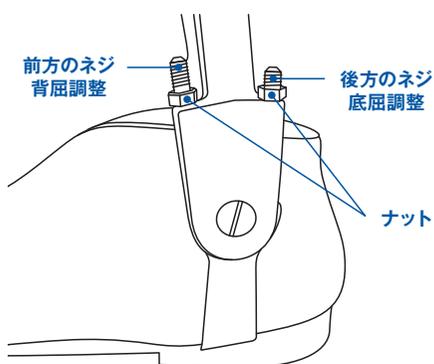
- ① 止めネジをゆるめてください。(2mm六角レンチ使用)
- ② 角度調整ネジで角度を設定します。(3mm六角レンチ使用)  
上のネジをゆるめることで、背屈方向へ可動域が広がります。  
下のネジをゆるめることで、底屈方向へ可動域が広がります。  
上下両方のネジをしめることで任意の角度で固定ができます。
- ③ 装具を装着して試歩行をおこないます。
- ④ 上記①～③を繰り返して、最適な角度・可動域を決定します。
- ⑤ 止めネジをしめ込んで、角度調節ネジを固定します。  
-a. 2mm六角レンチの長い部分をネジ穴に入れて締め込んだ後、  
-b. 短い部分に差し替えて、1/4回転ほど増し締めしてください。  
しめ過ぎによるネジの破損に注意してください。



**注意**

- 止めネジをゆるめないまま、角度調整ネジを回さないでください。
- 角度設定後は、止めネジを適切な力で締め込んでください。

## 金属支柱付き短下肢装具



### 調整手順

- ① 一番初めにナットをゆるめます。
- ② 前方のネジをしめる：背屈制限  
前方のネジをゆるめる：背屈拡大
- ③ 後方のネジをしめる：底屈制限  
後方のネジをゆるめる：底屈拡大
- ④ 調整後ゴニオメーターで角度を確認してください。

# 装具のチェックポイント (スタッフ用)

項目内の( )は各部名称記載ページに示した部位となります。参照して下さい。

チェックポイント	日付 (月1回チェック)					
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
各部に <b>変形</b> はないか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
各部に <b>変色</b> はないか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
各部に <b>破損</b> はないか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ネジのゆるみ</b> はないか? APS(④⑤⑥) 金属(④)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルト</b> に異常はないか? APS (①②③) 金属 (①②③) GS (①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルク口の接着力</b> に問題ないか? APS (①②③) 金属 (①②③) GS (①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルク口のほつれ</b> はないか? APS (①②③) 金属 (①②③) GS (①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
使用時に <b>異音</b> は鳴っていないか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
使用後に <b>皮膚のトラブル</b> はないか? (発赤・傷など)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有

**MEMO** (設定変更や修理した場合は必ず日付や内容を記載して下さい)

---



---



---

# 装具のチェックポイント (スタッフ用)

項目内の( )は各部名称記載ページに示した部位となります。参照して下さい。

チェックポイント	日付 (月1回チェック)					
	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日	月 日
各部に <b>変形</b> はないか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
各部に <b>変色</b> はないか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
各部に <b>破損</b> はないか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ネジのゆるみ</b> はないか? APS(④⑤⑥) 金属(④)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルト</b> に異常はないか? APS (①②③) 金属 (①②③) GS (①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルク口の接着力</b> に問題ないか? APS (①②③) 金属 (①②③) GS (①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
<b>ベルク口のほつれ</b> はないか? APS (①②③) 金属 (①②③) GS (①②)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
使用時に <b>異音</b> は鳴っていないか?	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有
使用後に <b>皮膚のトラブル</b> はないか? (発赤・傷など)	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有	無・有

**MEMO** (設定変更や修理した場合は必ず日付や内容を記載して下さい)

---



---



---

日付	年	月	日	申し送り先	
申し送り事項					
申し送り者					
確認者					

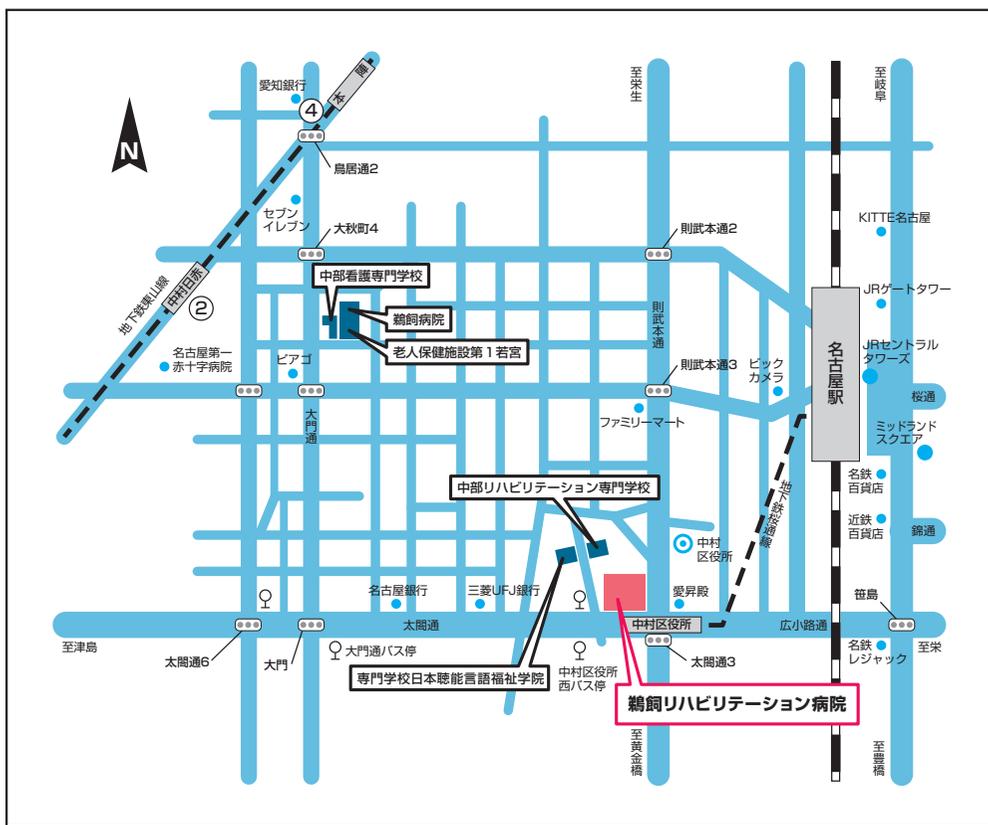
日付	年	月	日	申し送り先	
申し送り事項					
申し送り者					
確認者					

日付	年	月	日	申し送り先	
申し送り事項					
申し送り者					
確認者					

日付	年	月	日	申し送り先	
申し送り事項					
申し送り者					
確認者					

日付	年	月	日	申し送り先	
申し送り事項					
申し送り者					
確認者					

日付	年	月	日	申し送り先	
申し送り事項					
申し送り者					
確認者					



#### ■ 鶴飼病院

TEL. 052-461-3131 FAX. 052-461-3136  
 名古屋市中村区寿町30

#### ■ 老人保健施設 第1若宮

TEL. 052-461-3175 FAX. 052-461-3136  
 名古屋市中村区寿町30

#### ■ 通院リハビリ ウカイ

TEL. 052-461-9195 FAX. 052-461-3107  
 名古屋市中村区寿町6-1

#### ■ 大門訪問看護ステーション

TEL. 052-471-2533 FAX. 052-485-9702  
 名古屋市中村区大門町30

#### ■ 中部リハビリテーション専門学校

TEL. 052-461-1677 FAX. 052-471-2333  
 名古屋市中村区若宮町2-2  
<http://chureha.kzan.jp/>

#### ■ 中部看護専門学校

TEL. 052-461-3133 FAX. 052-483-0873  
 名古屋市中村区寿町29  
<http://kango.kzan.jp/>

#### ■ 専門学校 日本聴能言語福祉学院

TEL. 052-482-8788 FAX. 052-471-8703  
 名古屋市中村区若宮町2-14  
<http://ncg.kzan.jp/>



〒453-0811 名古屋市中村区太閤通4-1  
 TEL. 052-461-3132 FAX. 052-461-3231  
 E-mail: mail@kzan.jp  
 ホームページ: <http://ukaireha.kzan.jp/>

#### ■ 交通アクセスのご案内

地下鉄・桜通線「中村区役所」①番出口より … 徒歩約1分  
 市バス・名鉄バス「中村区役所」下車 …… 徒歩約1分  
 JR名古屋駅太閤通口より …… 車で約5分  
 名古屋高速道路「黄金」ICより北へ …… 車で約5分